

令和5年度 旧日本銀行新潟支店長役宅「砂丘館」 指定管理者事業計画

1. 運営の基本方針

一般見学、貸室、自主事業の3つを柱として、建物の風格にふさわしい文化の香り漂う場として、市民により親しまれる施設となることを目指します。

2. 自主事業

別紙のとおり

3. 一般見学、貸室

○ 一般見学の集客計画

砂丘館は静かな落ち着いた雰囲気を楽しみに訪れる方が多い施設です。入館者数を増やすことだけを目標にするのは馴染まないと思っております。また、入館者数については、新型コロナウイルス感染拡大の終息の兆しが見えるものの回復率がゆるやかであることから入館者数を昨年度並みの9,200人とします。貸室を過度に増やすことは見学するスペースが減ることになり見学者の不満につながります。現状が見学者数、貸室実績ともに程よいのではないかと考えます。

冬期間の夜間は入館者数が少ないことから、昨年度に2カ月間閉館時間の短縮を行ったところ、サービスの低下につながる大きな影響はありませんでした。そのため、令和5年度も実施する方向で進めていきます。

○ 貸室の利用促進計画

利用促進の広報と、利用者へのサポートを進めていきます。

多様な用途で利用できること、飲食も可能であることなどを積極的にアピールしていきます。現在すでに行っている、テーブルや座布団、お茶道具などを貸し出しするサービスについてもさらに広報で積極的にアピールしていきます。

また、展覧会・コンサートなどの利用では、準備段階からサポートを行い、利用促進を図ります。

4. 人員体制

○ 施設職員

職 種	員 数	備 考
館長	1名	学芸員
受付	5名	
生活文化企画運営担当（非常勤）	1名	
自主事業担当（非常勤）	1名	

○本社職員

本社指定管理担当職員（本社勤務）	1名
------------------	----

本社は、館から報告を受けるとともに、随時必要な指示と支援を行います。

5. 自己評価の手法

広く施設見学者・利用者の生の声を集めるために、アンケートや感想ノートを常備します。また、自主事業時にはその都度アンケートを実施し、感想・意見を集めます。

アンケートの回収率を上げるため、イベント時にはアンケート用紙をチラシと一緒に渡し、イベント終了後書いていただくよう声掛けをします。

毎月、館職員・非常勤職員、新潟ビルサービス担当者を交えた運営ミーティングを実施し、施設見学者・利用者の意見や要望を検討します。導き出された改善点や新たなアイデア見学者・利用者が関心を持てるような企画または運営方針を再構築し運営に活用します。

6. 収支予算

【収入】

(単位：千円)

科目	金額	主な内容
指定管理料	12,501	市からの委託料
自主財源	2,025	イベント収入、企業メセナ、寄付金、喫茶収入等
合計	14,526	

【支出】

(単位：千円)

科目	金額	主な内容
人件費	10,029	
管理費	2,522	光熱水費、施設案内パンフ作成・発送費等
自主事業費	1,975	人件費、企画展作家謝礼、チラシ作成費、喫茶運営費等
合計	14,526	

砂丘館 2023 年度自主事業計画 (30 事業)

自主事業は「自主企画展」「芸術文化の催し」「生活文化の催し」「セミナー」の4つを基本とします。

令和4年度自主事業計画 (29 事業)

- ① 自主企画展／新潟のすぐれた美術家や、新潟に関わりなく、すぐれて現代的意義を持つ作家の個展やグループ展をギャラリー他を会場に開催する。(7 事業)

中井菜央写真展 2023 年 4 月 20 日-6 月 18 日

十日町市津南に長期滞在し、豪雪の土地に暮らす人々や生活環境としての自然を独自の視点で撮影した写真集『雪の刻』(2022 年赤々舎)の掲載写真を紹介する。



中井菜央

くらしめぐり vol.3 2023 年 4 月 29 日-5 月 7 日

砂丘館の一階和室(座敷・居間・茶の間・奥座敷)を会場に、新潟市内の洋家具店、絨毯店、陶芸店、画廊などが協力して和の空間を現代の「美しい部屋」として創造。<くらしの空間>を展示する。*連携事業



デンマークの家具 (イメージ)

映像展示 2023

mikkyoz017 2023 年 8 月 1 日-13 日 吉原悠博 8 月 16 日-27 日

新潟で独自の映像+音響の作品を発表し続けるユニット mikkyoz と、新発田市を拠点に制作する映像作家吉原悠博の新作を展示。

下 mikkyoz016 右 吉原悠博



マドハット・カケイ展 2023 年 9 月 5 日-10 月 9 日

イラク生まれのクルド人画家マドハット・カケイが 1980 年代に日本で制作した人物と風景を主モチーフにした墨絵と木版画、そして現在ストックホルムとパリを拠点に制作される新作の抽象作品を展示する。



マドハット・カケイ

みなとまち新潟の芸と風土 発掘・体験プロジェクト 2023 年 10 月 25 日-11 月 26 日

(予定) *連携事業

新潟大学旭町学術資料展示館ほかと連携した展示(内容検討中)

上原木呂展 2023 年 10 月 28 日-12 月 17 日 *連携事業

新潟市西蒲区を拠点に、妖怪や魍魎を主題に旺盛な制作を続ける現代美術家上原木呂の現在を、砂丘館と NSG 美術館の 2 会場で紹介する。



上原木呂

「母は焚火です」展(仮称) 2024 年 2 月 15 日-3 月 24 日

新潟市生まれ妙高市在住の詩人国見修二の詩集『母は焚火です』(玲風書房)の詩をモチーフに母を描いたさまざまな絵画、写真を、国見の詩とともに展示する。



「母子」蓮池もも

② 芸術文化の活動／蔵や居間・茶の間・座敷を会場に、新潟の音楽家、パフォーマーの公演を行う。(8事業)

- ・薫風之音ライブ (5月14日)
- ・津軽三味線 小林組。ライブ (9月を予定)
- ・新内岡本宮之介を聞く会 (11月11・12日)
- ・ファビオ・ボッタツツォジャズライブ (12月23日)
- ・能勢山陽生・宮本尚晃ノイズ音楽ライブ (7月27日)
- ・堀川久子ダンス公演 (6月下旬)
- ・演劇公演 (サクマ企画と共催 時期検討中)
- ほか1事業を予定 (内容検討中)



新内岡本宮之介を聞く会 2021

③ 生活文化の活動／伝統的な住空間を生かした日本の生活文化を体験する催しを行う。(7事業)

- ・佐藤家の五月人形展示 5月 (今年度は旧齋藤家別邸に展示)
- ・四葩のコンサート 6月25日
- ・庭園実技講習 松と高木の剪定 7月
- ・庭園実技講習 雪囲いと雪吊り 11月
- ・新春神楽めぐり 2019.1月上旬 (旧齋藤家別邸と連携)
- ・香道入門講座 2月
- ・佐藤家のお雛様展示 3月



四葩のコンサート 2021

④ セミナー (3事業)

- ・「苔を学ぶ・苔を楽しむ」(7月1・15・22・29日)
- ・「ふるまち新潟をどり鑑賞講座」(8月を予定)
- ・「色を学ぶ」(秋を予定)



2022年の苔セミナーちらし

⑤ その他の授業 (4事業)

- ・砂丘館マルシェ (フリーマーケット 内容検討中)
- ・解説ボランティア養成講座
砂丘館の建物、庭について解説のできるボランティアを養成する講座 (全3回)
- ・花と絵による館内のしつらい
ボランティアによる生け花、「砂丘館セレクション(新潟市内の所蔵家から借用した絵画)」で館内を飾る。
- ・見学者への解説
解説ボランティア養成講座を受講したボランティアにより、来館者に館内と庭園の解説を行う。